

吉野ヶ里歴史公園

佐賀県

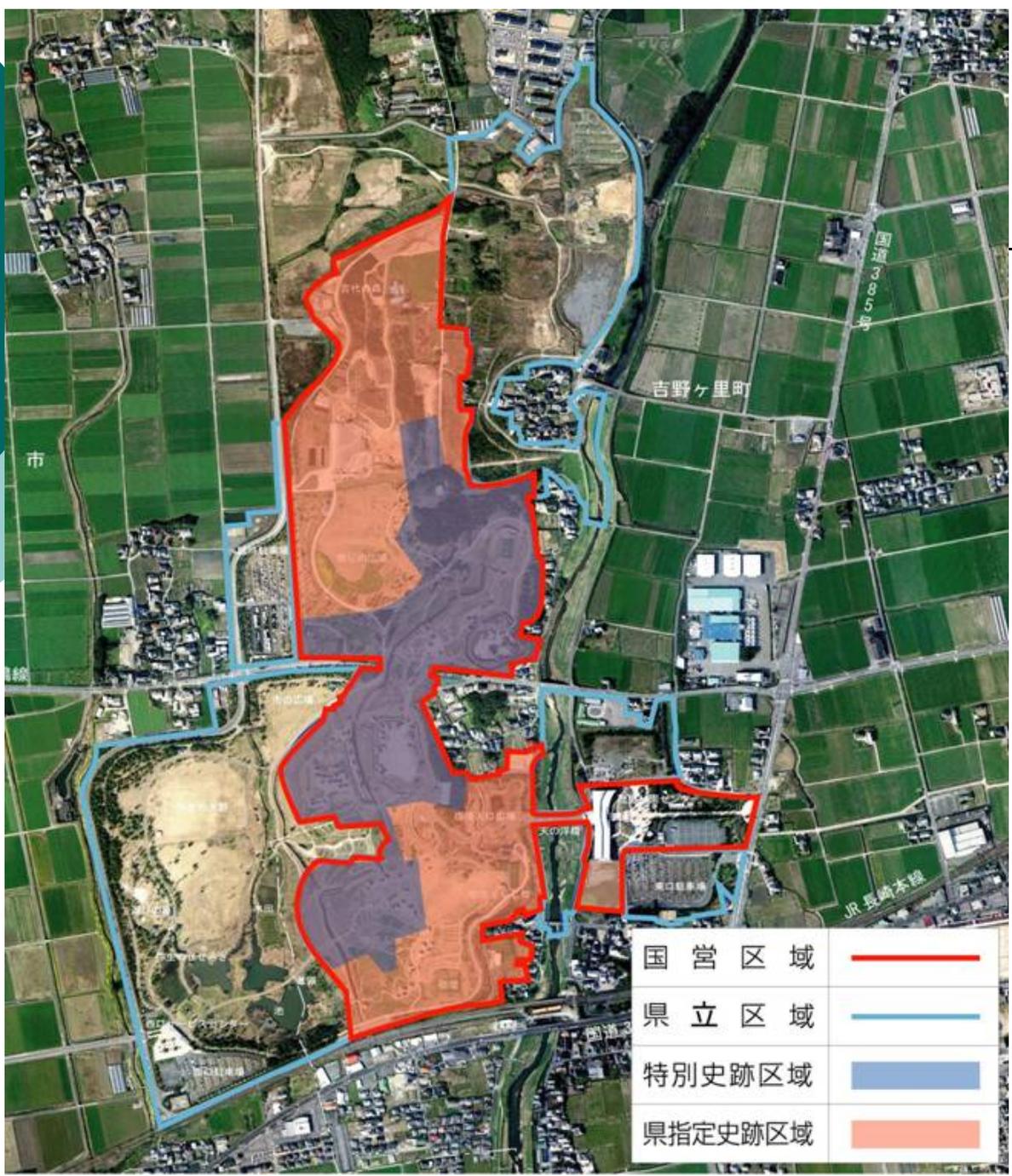
位置図



公園区域

位置: 佐賀県神埼市、神埼郡吉野ヶ里町

国営公園の区域 約54ha	国指定特別史跡区域(22ha)
	県指定史跡区域(28ha)
	史跡指定外(約4ha)
県立公園の区域 約63ha	史跡指定外
計 約 117 ha	



『弥生人の声が聞こえる』

【基本方針】

1. 遺跡の保存と活用
2. 魅力ある風景・環境づくり
3. 新しい歴史文化の創造
4. 国際交流の拠点として
5. レクリエーション環境の整備
6. 地域振興の一翼を担う
7. 段階的な整備の推進

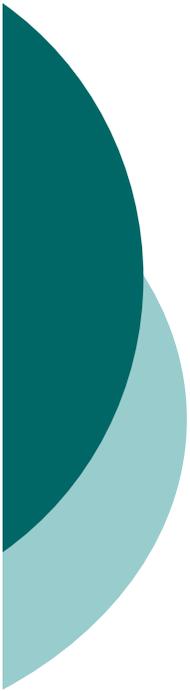
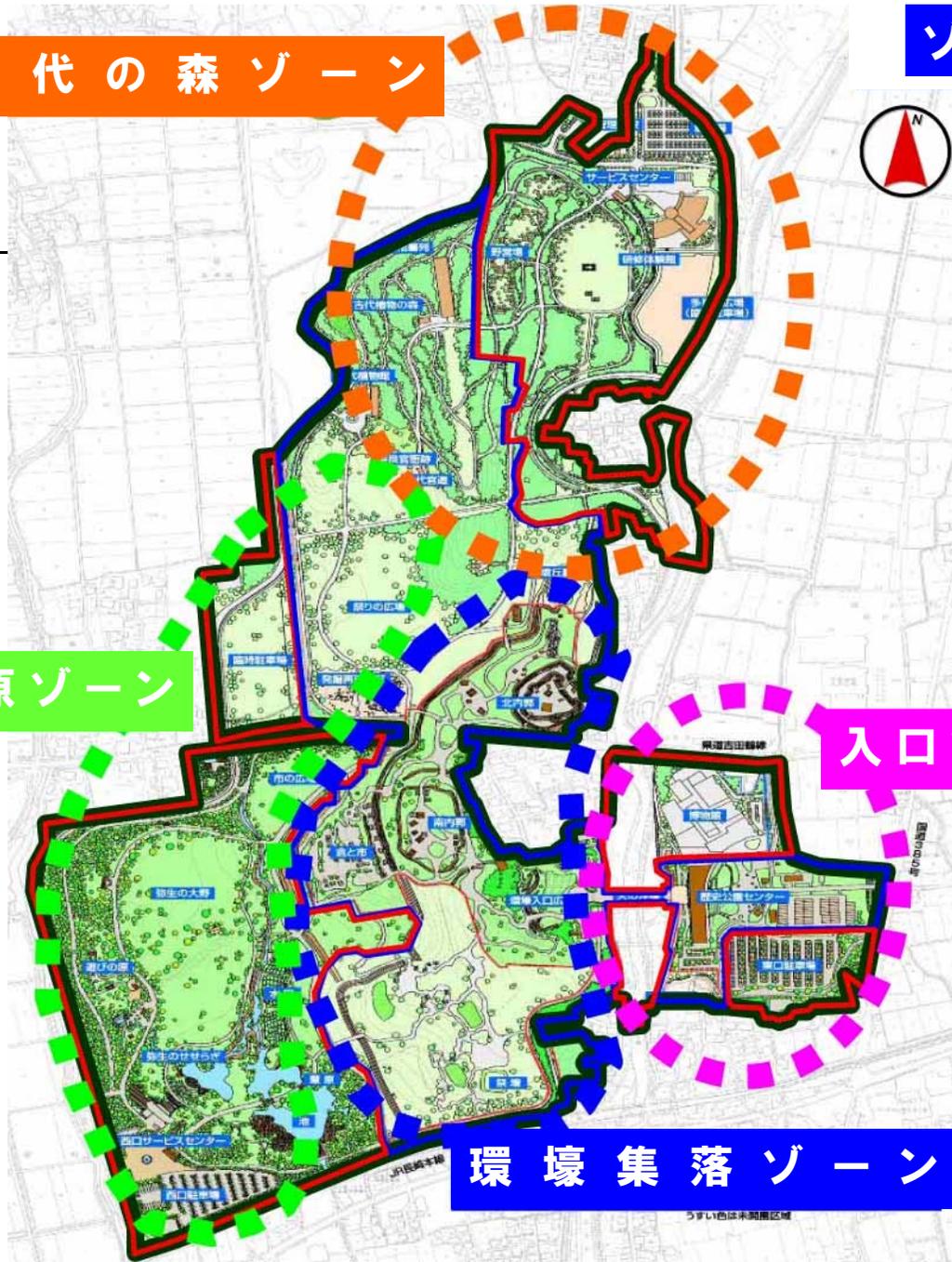
ゾーニング

古代の森ゾーン

古代の原ゾーン

入口ゾーン

環壕集落ゾーン



古代の森ゾーン

整備概要

全体事業費：205億円（県営）
事業期間：平成5年度～平成27年度
都市計画決定面積：A=117.3ha
（県営区域63ha、国営区域54.3ha）
供用面積：A=73.7ha
（県営区域35.4ha、国営区域38.3ha）
公園種別：広域公園



- 国営公園区域
- 県立公園区域

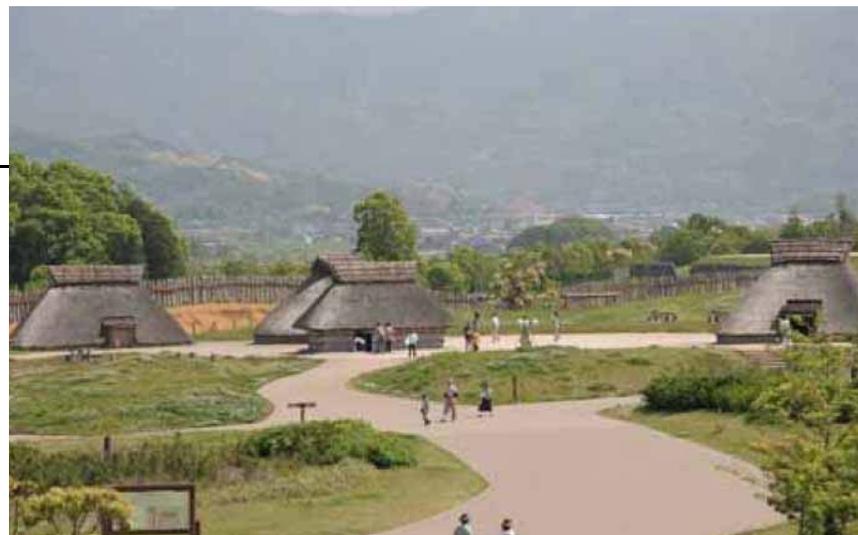
うすい色は未開園区域

遺跡の保存及び活用(国営)

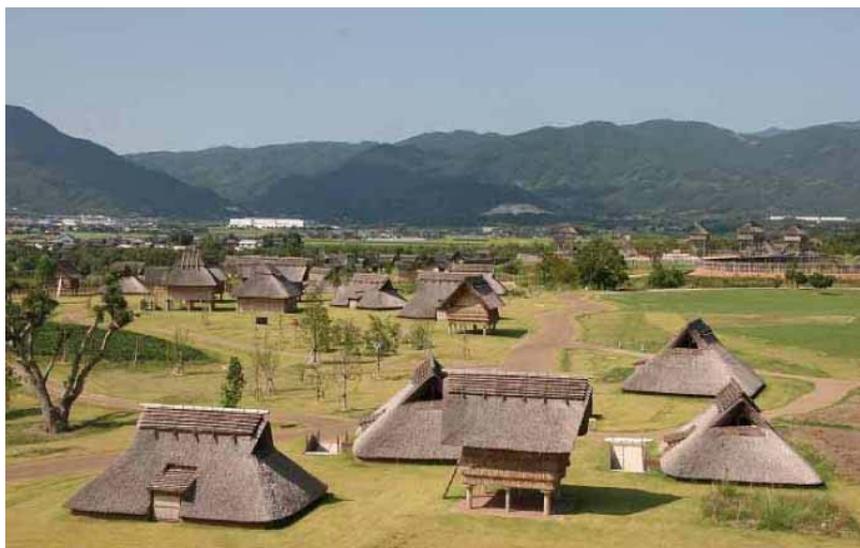
利用状況①



①北内郭



②北内郭(中のムラ)



③南のムラ



④北墳丘墓

遺跡の環境保全と公園機能の充実(県営)

利用状況②



⑤ 弥生のせせらぎ



⑥ 遊びの原



⑦ 弥生の大野(秋のイベント)



⑧ 弥生の大野
(サガン鳥栖サッカーパーク)



⑨ 吉野ヶ里夢ロマン軽トラ市

●園内での行われている弥生の風景・・・農の風景



田植え、稲刈りイベント



●園内での行われている弥生の風景・・・貫頭衣の貸し出し



入口での衣装貸し出し





火起こし体験



勾玉作り体験



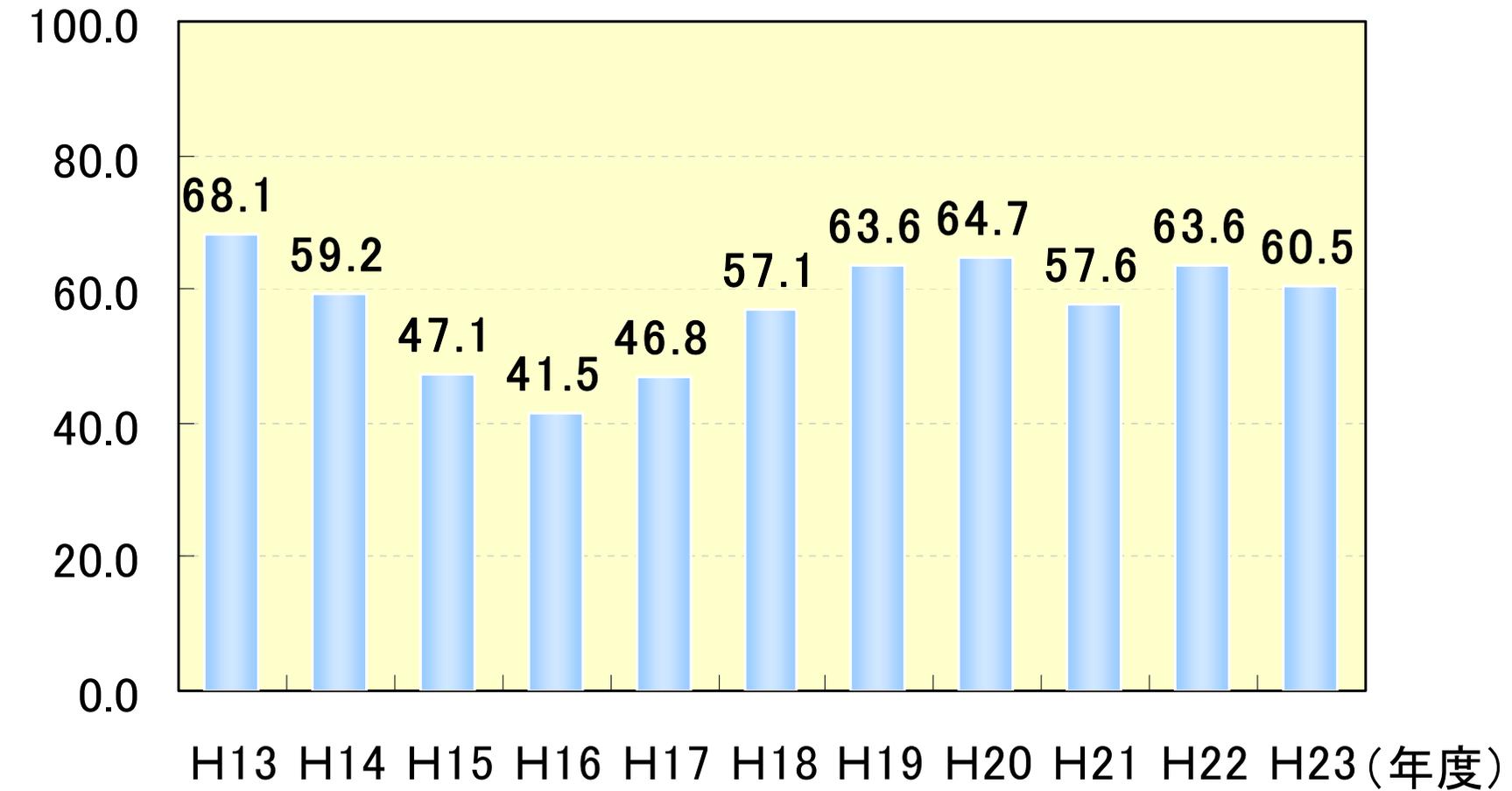
土笛作り体験



【年間入園者数】

吉野ヶ里歴史公園入園者数の推移

(万人)



古代の森ゾーン



整備状況(古代の森ゾーン)



- 弥生時代の森を再現し、森をとおしてさまざまな学習や生活体験などを親しめるゾーンとして整備中
- 県営区域はH27年度、国営区域はH24年度に開園予定

費用対効果



(費用対効果分析結果)
誘致圏：半径40km
競合公園：8公園
誘致ゾーン：52市町
誘致圏域内人口：4,236,014人
誘致圏域内世帯数：1,705,228世帯
(人口、世帯数資料：H22国勢調査)
便益(B)：253,567百万円
費用(C)：113,787百万円
費用効果比(B/C)：2.2

※大規模公園費用対効果分析手法
マニュアルにより算出

便益(B)

直接利用価値：公園利用料及び公園利用を目的とする移動費用を旅行費用法によって算出(25%)

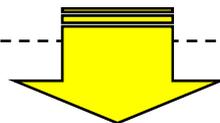
間接利用価値：公園整備を行った場合と行わなかった場合の周辺住民が持つ望ましさ(効用)の違いを貨幣価値に換算する(環境:28%、防災:47%)

費用(C)

事業開始から公園の供用開始後50年間の、工事費と用地費と維持管理費の合計

事業継続の必要性について

- 吉野ヶ里遺跡の周辺環境保全及び歴史公園として機能の充実を図るために、国営公園と一体となって歴史公園として整備がすすみ、県営区域の事業費ベースで83%(H23年度時点)が整備されている。
- 観光面において佐賀県を世界へPRする媒体として代表する観光地であり、国際的な交流や情報発信拠点としての役割を担っている。
- 全国から年間約60万人の来訪者を迎え入れる九州を代表する観光地であり、今後、公園整備を進めることでさらに利用者の増加が見込める。



以上から、事業の継続が必要である